



心の内に隠され、明るみに出て来ないあいだはもろもろの業の完全なかたちをはっきりと理解することはわれわれにはできない、その方によって成就された明らかに善なる業のゆえに至福で不滅の存在者を至福なる方とよぶ

哲学(愛知)者たちは、この世にあって倒れ、道を踏み外した者たちを自分のほうへ招き、迎え入れる。あらゆる哲学の師であり、真に至福で寛大な方である神がもろもろの受苦にとらえられた人々の許に自ら進んで来たと、どうして言わずにいられようか